

11 月 26 日：VN 指数は上昇基調維持 (VN-Index +0.60%)

- 昨日からの上昇に加え、寄り付き直後からの活発な買いの動きによって、本日の VN 指数は前日終値を大幅に上回って推移した。
- 前場の取引は前日より 32%高い出来高である 6.9 兆ドンを記録した。
- 売り方の圧力が後場にはわずかに強まったことで上昇幅を縮小させ、落ち着いた動きの中で本日の取引を終えた。
- 銀行、金融、食品・飲料セクターが本日の相場をけん引した。
- 286 銘柄が上昇、101 銘柄が下落、67 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から 11.7%改善し、13.3 兆ドンとなった。

VN30 指数も続伸 (VN-30 +0.56%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、25 銘柄が上昇し、2 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずとなった。
- MWG (+1.69%)、POW (+1.65%)、BID (+1.54%)が指数を押し上げた。
- 一方で下落した銘柄の下落幅はどれも 1%未満であった。

セクター・個別株の動き

- IMP (-0.68%)は 2024 年 10 月の業績を発表した。同社の売上は 1,760 億ドン（前年同月比-3%）、税引き前利益は 410 億ドン（同 29%）を記録した。売上は減少したものの、販管費の支出を前年同月比で-21%削減したことで利益の成長を達成した。
- TCM (0.00%)は 2024 年 10 月の売上が 1,360 万ドル（前年同月比+19%）、純利益が 99.4 万ドル（同+127%）を記録したことを明らかにした。同社の輸出はアジア向けが 63%と多数を占めており、北米市場の 32%が続く。
- 外国人投資家は本日、2,370 億ドンを買い越した。FPT (+0.97%)、DPM (+2.68%)、MSN (+0.69%)が買い越しに寄与した一方で、PNJ (-0.11%) DGC (-0.28%)の売り越しは顕著であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。